





鍋島焼文化を支える会社、百撰

百撰が選んだ 100 年後に残したいもの

それは焼き物の技術だけではなく、人の営みの中で受け継がれてきた思いや美意識

350 年続いてきた歴史をこれからも紡ぐために

私たちは動きはじめます





## 鍋島焼とは

江戸時代、肥前地域を支配していた鍋島藩が威信をかけ、1675年將軍への献上品を作るために築いた藩窯。肥前国の有田・伊万里（佐賀県有田町、同県伊万里市）地域で選りすぐりの陶工31人を集結させました。これが鍋島焼のはじまりです。

入り口には関所を設け、藩の許可なく出入りする事を禁じ、技術流出を防ぐとともに国内最高の技術者集団として苗字帯刀を許可する待遇で陶工を雇用し育成していました。

鍋島焼には、「色鍋島」「藍鍋島（鍋島染付）」「鍋島青磁」の大きく分けて三種類があり、当時の鍋島焼は一般には出回ることはなく、將軍や大名の為だけに創られた献上品でした。

廃藩置県以降に民窯となったあとも、明治、大正、昭和、平成、令和という約150年の激動の時代と共に変化し進化を遂げてきました。現代社会において鍋島の歴史的価値は日本磁器最高峰とも評されており、鍋島の産地である大河内山には素晴らしい文化・歴史・技術が受け継がれています。



## 色鍋島 Iro Nabeshima



肥前鍋島藩の藩窯、大川内山で生産された色絵磁器です。  
呉須の藍色で描かれた染付と『赤、緑、黄』の三色を基調とします。  
色鍋島は、和様の意匠と斬新で洗練された色彩感覚に優れ、江戸時代における日本美の極致の一つとして世界中で愛されてきました。日本で最も精巧な磁器とも言われ、その技術は今日まで伝承されております。

肥前鍋島藩の藩窯、大川内山で生産された磁器。

染付けは、アジアだけでなく西洋でも見られ、長い伝統がありながらもなお世界中で親しまれている陶磁器です。

その中でも藍鍋島の染付けの技術は、藍一色を使用し、全国的にみても珍しい色付けを行い濃淡(グラデーション)だけで表現していきます。色鍋島の鮮やかさと異なり、落ち着いた雰囲気のある美しさが世界中の人から愛されてきた理由です。

## 藍鍋島 Ainabeshima



## 鍋島青磁 Nabeshima seiji



青磁最高級品の色【秘色(ひそく)】

鉄分が炎の還元作用によって「青とも緑とも呼べない微妙な色」に発色することから「青磁」の名があります。釉薬の質、母胎となる土、焼成条件の微妙な違いで、発色がまるで変わるので一言で青磁と言っても様々な風合いがあります。

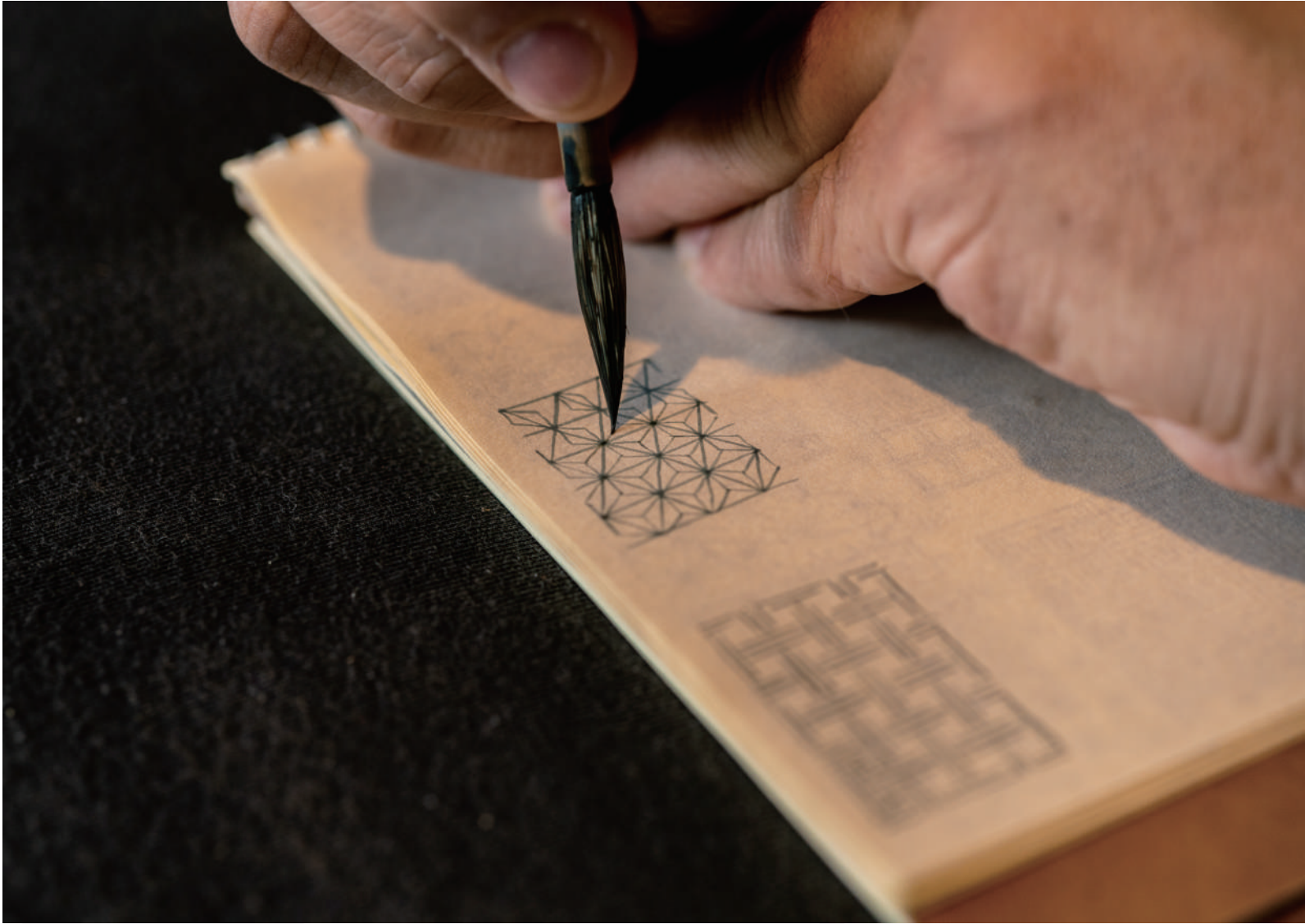
将軍家や諸大名だけの為だけに作られていた鍋島焼は、お殿様への献上品という性質ゆえに、焼き物が民間に出回ることを厳重に取り締まり、産地である大川内は現在では「秘窯の里・大川内山」とも呼ばれてきました。

鍋島青磁は大川内山で採れる天然の鉾石を使用して作られたもので、鍋島藩が350年前に青磁陶石を求めて伊万里市大川内山に移ってきて以来、技術が今に受け継がれている青磁です。

自然の青翠色の光沢が神秘的な美しさをかもしだし、潤いのある優雅な色合いを表現できる青磁磁器です。

藩窯(藩が経営する窯)がこの大川内山に置かれた理由の一つに青磁鉾石が採取できたからとも言われております。





## 百撰とは

1675年 鍋島藩によって築かれた鍋島焼。

その歴史的価値や文化的思想を50年後、100年後に受け継ぐために

「株式会社鍋島藩窯百撰」を設立しました。

今ある資源を大切にしながら、未来への課題に取り組んでまいります。



百撰では二つの方向から鍋島焼を支えていきます。

### 秘窯の里 デザイン事業部

プロダクトデザインや空間デザインを主軸としながら、大川内山のさまざまな課題と向き合い、デザインの力で課題解決をしていきます。

今ある課題、これから問題となり得る課題を見極め、鍋島焼に携わる方々と協力しながら課題解決していきたいと思えます。デザインの力とは、単なるプロダクトデザイン、空間デザインにとどまらず、課題解決の手法、仕組みづくりのことを指します。

### 秘窯の里 ツーリズム事業部

鍋島焼文化を発信し、大川内山の経済を豊かにすることを目的とします。

鍋島藩窯の地として350年もの間、守られてきた大川内山の資源や景観、ものづくりの現場などを伝えられる体験ツアーの企画運営を行い、産地の魅力を発信していきます。観光客はもとより経営者や海外アーティスト向けのツアー企画なども行い、産地の新たな人材発掘にも繋げていきたいと考えます。

#### 現在見えている課題

- ・人手不足
- ・経済縮小
- ・緩やかに失われつつある自然
- ・後継者問題
- ・IT化への遅れ

#### 解決の糸口

- ・人材確保
- ・新たな視点での鍋島焼の魅力発信
- ・展示会デザイン
- ・観光産業への対策（ハード・ソフト）
- ・後継者育成
- ・自然との共存
- ・環境整備・IT化
- ...etc

#### 具体的にわたしたちができること

##### ツアー企画

適正な規模の産地ツアーの企画運営  
ツアーを通じて産地の魅力を発信  
地域資源の活用

##### 展示会デザイン

展示会のコンセプトメイク

##### 観光客向け資料の刷新

環境整備支援  
350周年に伴う細部デザイン  
産地の環境整備・課題解決

##### 営業開拓支援

販路拡大、補助金獲得支援

##### プロダクトデザイン

新商品の開発  
商品のブランドストーリーの整理

##### PR

SNS発信

##### グラフィックデザイン

POP、チラシ

#### 将来的にわたしたちがやりたいこと

飲食店事業

宿泊施設

後継者育成のための学校づくり

今ある課題はもちろんのこと、潜在的課題を顕在化することで本質を見極め、将来問題となり得る課題についても未然に取り組んでいきます。



# 私たちについて

株式会社鍋島藩窯百撰

代表取締役 川副隆彦

起業支援  
プロジェクトマネジメント  
経営参画

川副隆彦 (虎仙窯)

鍋島焼の産地内 (大川内山) にある鍋島虎仙窯 3 代目  
伝統工芸士

9times9

「日本の美しさ、自然の価値、伝統を次の世代に伝えるために、  
みんなが課題解決に取り組むことのできる未来を創る。」を  
VISION に掲げる

鍋島虎仙窯の 3 代目 川副隆彦が代表取締役を務める株式会社鍋島藩窯百撰は  
一般社団法人 9times9 のメンバーを役員として迎え、共に活動を行っております。

## 会社概要

会社名 株式会社鍋島藩窯百撰

本社所在地 〒848-0025 佐賀県伊万里市大川内町乙 1823-2

設立 2024 年 4 月

代表者名 代表取締役 川副 隆彦

事業内容 ツアー企画、営業開拓支援、展示会デザイン、プロダクトデザイン、  
インテリアデザイン、PR、グラフィックデザイン

